



公益財団法人日本ユニセフ協会協定地域組織

佐賀県ユニセフ協会通信 Uniwish(ユニッシュ) 創刊号(2011年7月)



佐賀県ユニセフ協会 Uniwish (ユニッシュ) 創刊に寄せて

佐賀県ユニセフ協会
会長 中尾 清一郎

ユニセフの活動について、日本では戦後の混乱期、児童の栄養失調を補うための「スキムミルク」配布を思い起こす世代の方もいらっしゃるでしょう。また、近年ではイメージキャラクターの黒柳徹子さんやアグネス・チャンさんの活動を思い浮かべるむきもあると思います。現在ではNPO（非営利法人）などによる福祉、慈善活動が盛んで、ユニセフもそのような団体の一つに過ぎないとの見方もありますが、世界中に展開し、国民の生命や健康をあまり重視しない政府もあるなか、国家相手に責任を持って向き合うことのできる団体は他にありません。私はユニセフの権威や規模を誇っているわけではなく、地道な活動を続けることと、丁々発止の国際情勢を乗り切る力は別物だと考えるからです。

私はユニセフ活動にかかわって、人間の良心や善意の自然の発露に救われると同時に、世の中には邪悪な力が存在することも思い知らされました。思いやりや慈悲の心では解決できない問題には、世界中の国々の支援や世論・報道の力が必要なのです。紛争地域、貧しい国々の子どもたちが可哀そう、とは誰しも思います。しかし、戦争や貧困を生み出しているのは豊かな生活を送る先進工業国のエゴであったり、大国の世界戦略や、新興国の覇権争いである場合が少なくありません。私はユニセフ活動を通して慈善の心を育むだけでなく、社会の成り立ちや国際情勢のメカニズムを理解する知性を養って欲しいと思ってきました。

そのような中、世界で最も豊かで平和であると思っていた日本で東日本大震災が起き、原発事故の影響で子どもたちの健康や将来が脅かされています。どちらかと言えば途上国向けと考えていたユニセフ活動が、数十年ぶりに日本の被災地の子どもたちに向けられています。自然の脅威に無力な私たち日本人は、少しいぬぼれていたのかもしれませんが。日本の豊かさがいかに世界経済と結びついていたかを考えた時、これからどんなことがあろうとも私たちは世界中の人たちと連帯していかなければならないことを学びました。

この佐賀でのささやかなユニセフ活動が、大きな世界的な流れにつながることを信じて活動していくことを誓い合いたいと思います。

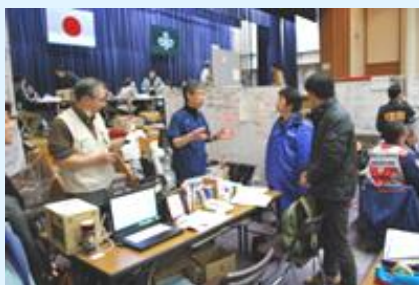
東日本大震災 ～被災地の子どもたちのために～

3月11日午後2時46分に発生したマグニチュード9.0を記録する巨大地震、津波、さらには福島原発事故による様々な困難で且つ甚大な災害の被災地では、子どもたちが最も弱い立場に立たされます。日本ユニセフ協会は、ユニセフ本部や東京事務所、被災地の地方自治体や支援団体・企業と協力しながら、被災地の子どもたちの心と体のケアを最優先に配慮し、必要とされる支援を提供しています。

【各地での支援活動の様子】



3月19日 ◎ 日本ユニセフ協会
飲料水20トンを載せた第一便の支援物資が仙台市に到着



3月20日 ◎日本ユニセフ協会
宮城県庁内の災害対策本部で協議する 國井修医師とスタッフ



3月22日 ◎日本ユニセフ協会
宮城県松島町内の給水の様子



3月24日 宮城県女川の避難所で國井医師（ソマリア事務所所属）からぬいぐるみを受け取り笑顔を見せる子どもたち



◎ 日本ユニセフ協会/2011/K.shindo



4月12日 ◎ 日本ユニセフ協会
女川第二小学校始業式 学校再開
ランドセル、学校カバン、学用品などを子どもたちへ



4月20日 ◎ 日本ユニセフ協会/2011/K. shindo
岩手県陸前高田市 震災後初めての乳児健診



4月25日 ◎ 日本ユニセフ協会/2011
『ちっちゃな図書館』プロジェクト。「えほんをおくろう。
えがおをおくろう」大船渡市の大船渡中学校の避難所。



5月6日 ◎ 日本ユニセフ協会/2011/K. Goto
ユニセフ子どもバス遠足 岩手県盛岡南公園球戯場
参加した約200人の子どもたちと交流する小笠原選手。



5月12日◎ 日本ユニセフ協会/2011/K. Goto
福島県南相馬市八沢小学校に仮設トイレ



5月16日 ◎は同左
福島市内幼稚園保育園児
おもいっきり外遊びプロジェクト



5月20日第63回岩手県高校総体◎は同左
被災地域の高校生の大会参加を支援



5月24日 ◎ 日本ユニセフ協会
宮城県と岩手県の自治体からの要請を受け、
保育園や幼稚園等の仮設園舎の建設や大規模な修繕のための支援



5月25日◎ 日本ユニセフ協会/2011/K. Goto
宮城県内の10市4町からの要請を受け、
母子保健事業の本格的な再開に全面的な
支援



6月1日 ◎は同左
岩手県大槌保育園の再開

東日本大震災



佐賀から
被災地の子どもたちのために

【街頭募金活動】

- 3月19日（土）イオンスーパーセンター佐賀店（佐賀市東与賀町）
- 3月20日（日）イオン佐賀大和ショッピングセンター（佐賀市大和町）
- 3月21日（日）イオン佐賀大和ショッピングセンター（佐賀市大和町）
- 3月24日（木）ブリスAコープ 曲川小学校（西松浦郡有田町）
- 3月27日（日）富久千代酒造（鹿島市浜町）



【コンサート】

- 3月26日（土）ライブハウス ガイルス（佐賀市）
「東日本大震災」緊急支援チャリティーライブ「佐賀から被災地の子どもたちへ」
～木原慶吾&スピリッツ ボランティアライブ～

- 5月8日（日）佐賀県立美術館ホール（佐賀市城内）
「東日本大震災支援」～子どもたちの笑顔のために～
アンサンブルブレーメンと仲間たちコンサート ♪音楽と物語の世界♪

【イベント】

- 5月3日（火）第108回有田陶器市 有田町赤絵町の今右衛門前にて
東日本大震災緊急募金活動&グッズ頒布
- 5月15日（日）唐津市虹の松原広場にて
第42回『青年の日』第17回 チャリティーフェスティバル
- 5月22日（日）佐賀玉屋デパートにて
第18回ユニセフチャリティーバザー
「東日本大震災緊急支援バザー」



～活動詳報～



■ 「東日本大震災支援」～子どもたちの笑顔のために～

アンサンブルブレーメンと仲間たちコンサート ♪音楽と物語の世界♪

5月8日（日） 佐賀県立美術館ホール（佐賀市城内）



佐賀県内を中心に活動するアンサンブルブレーメン（ヴァイオリン 森和幸さん・チェロ 古賀美加さん・ハープ 小出瑠衣子さん・ピアノ 木須千津子さん）と、その仲間たちによるコンサートが開催されました。たくさんの親子連れが、美しい音楽と「おおはくちょうのそら」の物語の世界を楽しめました。

佐賀県ユニセフ協会は、東日本大震災におけるユニセフの支援活動の様子を、お話とパネルでお伝えしました。ロビーではユニセフグッズの紹介と募金活動をしました。ロビーは、「風の画家 中島潔が描く『命の無常と輝き』展」の最終日とあって多くのお客様で賑わい、パネルやグッズをご覧になったり募金に協力してくださったりしました。おかげさまで、51,419円の募金と34,860円のグッズのご協力をいただきました。ありがとうございました。

■ ユニセフパネル展

4月29日（金） 第26回花みずき茶会にて（佐賀市金立山いこいの広場）



満開の花みずきが新緑に映えるなか、「第26回花みずき茶会～平和への祈りをこめて～」が開催されました。主宰の岩橋宗厚先生はユニセフや国際ソロプチミストを通して、困難な状況下にある子どもたちへの支援を続けておられます。

今年は「がんばろう日本 東日本大震災支援茶会」として、茶道具も東北に縁のあるものを揃え、多くのお客様とともに被災者の皆様へ心を寄せて、一人でも多くの行方不明の方がご家族のもとへ帰られますように、一日も早い復興を願っての茶会となりました。

待合には、東日本大震災におけるユニセフの支援活動の様子のパネルを展示しました。給水車で水を届けている様子、避難所の子どもたちへ「箱の中の幼稚園」などの玩具を届けている様子、乳児健診の様子、学校再開のための支援の様子などをご覧いただきました。

■ **募金贈呈式 5月17日（火）** 事務所にて
立正佼成会佐賀教会青年部の皆様は、
5月15日（日）『青年の日』に、東日本大
震災支援募金活動をされました。130名の
ボランティアの皆様が、JR佐賀駅前・佐賀
玉屋デパート前・道の駅「そよかぜ館」・
吉野ヶ里歴史公園・三瀬村まっちゃん・県立
総合グラウンドの6会場で「被災地の子ども
たちのために」と協力を呼びかけました。
17日に代表の方が皆様からご協力いただいた
浄財481,803円を事務所にお届けくださ
いました。各会場でご協力いただいた皆様、ボ
ランティアの皆様、会場をご提供くださった皆様、ありがとうございました。



■ **ユニセフ出前授業 6月22日（水）ゆめ組 : 29日（水）ほし組**
神崎市放課後子ども教室ドリームパーク
テーマ：「水とトイレと子どものいのち」 (神崎市立千代田西部小学校)



トイレクイズ



紙芝居



スペシャル・ドリンクで「かんぱ〜い！」

神崎市子どもの居場所づくり実行委員会では、国の委託を受けて神崎市内の7小学校や公民館で、放課後や週末にいろいろな体験活動、世代間交流ができる居場所づくりを進めています。

千代田西部小学校ドリームパークゆめ組（1年～4年、21人）、ほし組（1年～6年、36人）の子どもたちは、「水とトイレと子どものいのち」というテーマで学習しました。

「トイレクイズ」では、世界にはトイレのない家や学校がたくさんあることを知ったり、紙芝居「手おしポンプ物語」で、村にポンプが一つできただけで村の生活が変わり子どもたちが学校へ行けるようになったことを知ったりしました。また、安全でない水のため下痢を起こし脱水症でたくさんの子どもの命が奪われること、それを改善するにはORS（経口補水塩）が役立つことなどを知りました。そして、ORS（経口補水塩）に似たスペシャル・ドリンクを作りました。その後、ネパールの水がめを使つての水運び体験をしました。

【学習を終えて】

- ・世界にはトイレのないお家があるのがびっくりした。
- ・紙芝居が楽しかった。村にポンプができてよかった。子どもたちが遊びながらタンクに水がたまるのがおもしろい。
- ・日本では当たり前のことが、世界では当たり前じゃなかったことに驚いた。
- ・お風呂の水を洗濯に使うことの大切さがわかった。
- ・いまこの瞬間にも亡くなっている子どもがいるなんて知らなつた。
- ・水運びがきつかった。
- ・歯磨きをするときも水を止めようと思った。

■ コープさが生活協同組合「ネパール指定募金」今年もありがとうございました。
6月21日（水） 佐賀県教育会館にて



コープさが生協では2008年度から「ネパール指定募金」として、お年玉募金をはじめ、エリアでのユニセフバザー・支部まつりやコープフェスタなどの中でユニセフ募金活動に取り組んでおられます。

2011年度第21回通常総代会において「ユニセフ・ネパール指定募金」496,373円を、佐賀県ユニセフ協会太田記代子常務理事に贈呈されました。

皆様からご協力いただいた浄財はネパールにおける「地域主体の女性と子どもたちのためのプログラム（ACAW）：農村女性による村の開発計画（教育・保健・衛生・保護）」を資金面・技術面から支援するために役立てられます。ありがとうございました。

2011年ユニセフお年玉募金メッセージより （コープさが生活協同組合）
あなたからもうひとりの おともだちへ



- ★家族みんなのお小遣いを集めました。少しでも役に立ててください。
- ★世界中の人たちが幸せな気持ちで毎日がおくれますように。
- ★コーヒー一杯分の募金ですが子どもたちのために使っていただけるとからだよりも「心」があたたまります。
- ★世界中の子どもたちが健康で幸せな毎日を過ごせますようにお祈りしています。

ユニセフってなあに？

ユニセフの事務所とそこで働いている人びと

ユニセフの本部はアメリカ合衆国のニューヨークにあります。また、支援のための物資（活動に使われるさまざまな物）を調達したり、保管したりするセンターがデンマークの首都コペンハーゲンに、子どもに関わることがらを研究するセンターがイタリアのフィレンツェにあります。

ユニセフで働いている職員の数はおよそ10,000人。そのうち85%は、実際の活動の現場となっている開発途上国の事務所で働いています。

今回の東日本大震災では、コペンハーゲンからレクレーションキット、箱の中の幼稚園、学校用カバンなどが届きました。

また、ユニセフ・ソマリア事務所の國井さん、ユニセフ・ヴェトナム事務所の安田さん、ユニセフ・ナイジェリア事務所の泉さん、ユニセフ・ハイチ事務所の井本さん、ユニセフ本部の福原さん等々、各分野の専門家の皆様が東日本大震災で被災している人々の支援のために駆けつけてくださいました。

世界の子どもたちは、今

ユニセフのエクイティー（公平性）プログラムのもと、
登録のない子どもも学校へ

【2011年5月16日 マレーシア/カンブン・ヌンバク発】



（地図は参考のために掲載したもので、
国境の法的地位について何らかの立場
を示すものではありません。）

マレーシア・ボルネオ（ボルネオ島の北部）の海岸
沿いにある村、カンブン・ヌンバク村の住人の家は、
海の上に高床式に建てられています。
道路代わりにするのは、歩くと音を立てる、栈橋のよう
な通路、家の屋根は鋼板製です。

コタ・キナバル市の北側に位置するカンブン・ヌンバク村には、フィリピンからの
移住労働者たち8,000人が住んでいます。いずれも正規の登録をしていない人たちです。
最近まで、公式な登録（本人の出生登録等の公式登録）がない限り、子どもたちは正
規の学校に通うこともできませんでした。移住者用の教育施設がないわけではなかつ
たのですが、数は少なく、子どもが溢れ、資金不足の学校ばかりでした。

「学校に行けない子がいるのはかわいそうなことです」と語るのは、自身8人の子
どもを持つ教師、セレナ・ビンティ・ヒジ・ピルソンさんです。人生のほとんどを、こ
こカンブン・ヌンバクに住んでいます。「学校に行けない子は、釣りにいたり、海
のそばや栈橋の下で遊んでいます。それが彼らの日常でした。」

それが今や変わりつつあります。これもユニセフのエクイティー（公平性）戦略の
おかげです。ユニセフの資金提供をもとに、コミュニティが教育センターを作ったの
です。そして、なんとマレーシア政府もこの支援プログラムに参加。おかげで、カン
ブン・ヌンバク村の未登録の子どもたち、320人が授業を受けられるようになりました。

劇的な変化



© UNICEF Malaysia/2011

ユニセフが支援する教育センターに通学する
少女たち。この学校は、サバ州カンブン・ヌ
ンバク村の登録していない子どもたちを受け
入れている。かつては、出生登録がない子ど
もは学校に通うことができなかった。

「この支援プログラムは、とても重要です。」と
語るのはユニセフ・マレーシア事務所のハンス・オ
ルセン代表です。

この教育センターでの授業は、国のカリキュラムに
則って行われており、最初は読み書きに重点が置か
れます。裁縫、大工仕事、船作りなどの職業訓練は、
後々追加される予定です。ユニセフは、この教育セ
ンターが、就学していない未登録の子どもたち推定
4万4,000人に、教育の場を提供するモデル例になれ
ば、と考えています。「未登録の子どもたちに教育
を提供することによって、子どもたちが読み書きが
できるようになり、後々には職業訓練もできるよう
になれば、彼らの将来は明るいものとなります。」
とハジ・モハムド・プアダ教育副大臣。「だからこ
そ、彼らに教育の場を提供したいのです。」

学びの場

ベンハル・ビン・ムイジビン（11歳）君は、マレーシアに生まれましたが、出生登録証を持っていません。そのため公立の学校に通うことができません。彼は、ユニセフが支援する教育センターの5年生です。

「学校に通うことができないと、村の多くの子どもたちはギャンブルに手を出したり、盗みを働いたりしてしまう」と彼は言います。「学校に行って、友達に会うのがとても楽しみなんだ。頭が良くなるように勉強したい」

ベンハル、そのほか、困難な状態にあるマレーシアの子どもたちは、出生登録証があろうと、なかろうと、教育を通して、家族の将来を形作るお手伝いもできるようになったといえます。



© UNICEF Malaysia/2011

ユニセフが支援する教育センターで算数の授業を受けるベンハル・ビン・ムイジビン君（11歳）
彼はマレーシア生まれですが出生登録をされておらず、正規の公立小学校に通うことができません。

[資料提供：日本ユニセフ協会]

募金でなにができるの？

女子教育



89円 子ども2人分のえんぴつとノート（1人分＝えんぴつ1本、ノート1冊）



890円 子ども10人分のスケッチブックとクレヨンセット（8色入り）



1,335円 縄とびの縄、60本（女の子の運動を促進する支援物資）



8,900円 バレーボール10個とバレーボール用ネット10枚。（子どもたちが仲間と協力し合うチーム・スポーツを経験できるようにする支援物資）



5,340円 「スクール・イン・ア・バッグ」1セット

先生1人分と生徒40人分のバッグ、鉛筆、消しゴム、ノート、定規、学用品バッグ、教師用の教材など、基本的な学習資材が施錠式の金属製トランクに入っている。トランクの蓋は黒板としても使用可能。子どもたちが外の世界と触れることができるよう新しくぜんまい式の太陽電池式ラジオを入れた。

17,800円 新「スクール・イン・ア・ボックス」1セット

主に緊急事態下で使用される教材セット。生徒40人分の鉛筆、消しゴム、ノート、はさみ、バッグなどと教員のための資材の他、太陽電池式ラジオが入っている。セットはメタルボックスの中に入っていて、蓋はペンキを塗ると黒板として使用できる。

[2011年1月現在 1米ドル89円で計算（小数点以下切り上げ）]

[資料提供：日本ユニセフ協会]



の仲間たち!

佐賀県立小城高等学校 3年 ogiami さん
紙芝居「手おしポンプ物語」制作に取り組む!!



小城高校3年ogiamiの2人は、1月の事務所訪問でユニセフの勉強をし、「困難な状況のなかで生きている子どもたちのために少しでも行動していきたい。まずは、多くの人たちに知ってもらうための資料作りを手伝いたい。」と紙芝居作りに取りかかりました。1月から6月までの半年間、土曜・日曜・祝日を利用して延べ56時間もの時間をかけて、「手おしポンプ物語」（15枚組）を作りました。

【制作を振り返って】

生命が生きていくうえでの一番大切な「水」についての紙芝居を作ろうと思いました。思っていたよりも時間がかかって大変だったけれどやりがいがあり、達成感があります。大変だったぶん、終わってさびしい面もあります。紙芝居を見た子どもたちに水の大切さが伝わればいいなと思います。「安全に飲める水」って、あって当たり前と思っていましたが、紙芝居を作りながら「当たり前ではない。」ということに気付いていきました。東日本大震災でも水を求めて並んでいる大勢の人々がいました。改めて「水」の大切さについて考えました。(by ogiami)

Uniwish(ユニッシュ)ってなあに？



平成20年12月1日に発効されました新公益法人法に伴い、財団法人日本ユニセフ協会は平成23年4月1日に公益財団法人日本ユニセフ協会に移行しました。それに伴い、財団法人日本ユニセフ協会佐賀県支部は、平成23年4月1日より、「公益財団法人日本ユニセフ協会協定地域組織佐賀県ユニセフ協会」へと名称を変更いたしました。

またこの節目にあたり、佐賀県ユニセフ協会発行の機関紙の愛称を、(unicef+wish) = 「Uniwish(ユニッシュ)」としました。

「ユニセフ (unicef) の 願い (wish)」を表わしたロゴマークは、「世界中の子どもたちが笑顔になれますように」との願いを込めてデザインしました。これから、佐賀県ユニセフ協会のマークとして使用していきます。よろしくお願いします。



ご支援
ありがとうございます

道海島小学校様 トヨタ紡織九州レッドトルネード様 上峰小学校様 大溝小学校6年生様
 国見中学校生徒会様 曲川小学校102卒業生様 富士中学校1年1組様 西唐津小学校様
 富久千代酒造様 佐賀リハビリテーション病院様 母子草様 木原慶吾&スピリッツ様
 ホテル・ニューオータニ佐賀様 グランデはがくれ様 ホテル・マリターレ創世様
 旅館あけぼの様 さがんレストラン志乃県庁店様 麓小学校様 バレエ&ビヨンド様
 多布施クリニック様 佐賀ギター音楽院様 アンサンブルブレイメン様 東洋館様
 New・モア様 立正佼成会佐賀教会様 ボランティア循友様 弘堂国際学園様
 JA佐賀県女性組織協議会様 田口電機株式会社様 コープさが生活協同組合様
 花みずき茶会様 みねまつ歯科様 アルタ高木瀬店様 アルタ開成店様 いっせい麺処様
 内田整体院様 えんぴつ館様 榊北島様 村岡屋様 栗原内科様 佐賀ターミナル様
 空港レストランカンフォーラ様 サンシャレー様 TSUTAYA鍋島店様 ホンダパーツ西南様
 風羅坊様 三瀬そば様 H&M EXCEL W・E・N・S様 H&M EXCEL 様 H&M EXCEL Fido様
 ヘア&フェイス ドゥース様 モンテカルロ太陽様 菖蒲ご膳様 山小屋ラーメン川副店様
 山小屋ラーメン南佐賀店様 矢山クリニック様 佐賀市文化会館様 川崎自工様
 モトシマ様 ようどう館大和校様 恵比寿鍼灸院様 ファミリーマート大和尼寺店様
 いちはら耳鼻咽喉科クリニック様 森和幸音楽教室様 ミックコスメティックプラザ城北様
 ふくしま薬局通小路店様 産学連携学会第9回大会(佐賀大会)様

大塚製薬佐賀工場様 さが市民活動プラザ様 日新公民館様 本庄公民館様 セルフ様
 サニーハウス様 佐賀県高等学校家庭科連盟様 エコプラザ様 西与賀公民館様
 ライフデザイン様 循誘公民館様 ヘルスランチあららぎ様 ファイザー様 みのり歯科様
 三田川小学校様 清和中学校様 三日月小学校様 鳥栖中学校様 Love FM様
 雇用能力開発機構佐賀センター様 佐賀県環境整備事業協同組合青年部様 新栄公民館様
 佐賀大学医学部基礎研究棟様 かしま市民立楽修大学様 回生薬局伊万里駅前店様
 副島病院様 第一生命佐賀支社様 佐賀新聞社様 G I Sインスティテュート様
 佐賀県立ろう学校中学部様 唐津市社会福祉協議会様 佐賀大学産学官連携推進機構様
 千代田中部小学校PTA成人教育委員会 佐賀玉屋デパート様 イオン佐賀大和店様
 イオンスーパーセンター佐賀店様 立正佼成会唐津教会様 すぎの子文庫様

(2011年2月18日～6月30日)

★ いろいろな形でのご支援・ご協力に心から感謝申し上げます。
 今回は特に「東日本大震災緊急募金」に対して個人の方からも
 たくさんのご支援ご協力をいただいておりますが、この欄での
 ご紹介は学校・企業・団体様等のみにさせていただきます。



日本ユニセフ協会賛助会員になろう

日本ユニセフ協会賛助会員とは、日本国内での募金活動、広報およびアドボカシー（政策提言）活動を担う日本ユニセフ協会を、賛助会費によって支援していただく協力方法です。賛助会員になってニュースレターや資料を入手して理解を深め、世界の子どもたちの状況やユニセフと日本ユニセフ協会の活動を知り、できる範囲で行動する機会にさせていただくことができます。

☆賛助会員の種類や期間について(3種類の会員があります)

1. 一般賛助会員 1口 5,000円

※ 一般賛助会員は個人の方が対象です。

2. 学生賛助会員 1口 2,000円

※ 学生賛助会員は18歳以上の学生の方が対象です。

※ 有効期限はどちらも入会月から1年間で、ご退会のお申し出をいただくまでご継続となります。

3. 団体賛助会員 1口100,000円

※ 団体賛助会員は企業、団体、有志のグループなどが対象です。期間は、毎年4月～3月の事業年度で、1年ごとの更新になります。

☆公益財団法人 日本ユニセフ協会の賛助会費は、ユニセフ募金と同様、寄付金控除の対象となります。
(お問い合わせは、佐賀県ユニセフ協会事務所まで)

☆佐賀市平和展

ユニセフパネル&地雷展「紛争下の子どもの権利

8月4日（木）～7日（日） 佐賀市立図書館にて

☆ユニセフ出前授業

8月9日（火） 唐津市立浜玉中学校にて

☆さが国際ふれあいフェスタ2011

9月19日（月） アバンセにて

☆ユニセフ巡回写真展「東日本大震災」

10月8日（土）～15日（土）佐賀市立図書館中央ギャラリーにて

☆ユニセフ写真展「東日本大震災」

10月8日～9日 佐賀大学医学部むつごろう祭にて

☆ユニセフのつどい

10月9日（日）佐賀市立図書館多目的ホールにて

11月10日（日）佐賀市立図書館にて

